

編集後記

本誌も第19巻にはいりますが、今号は通巻でちょうど80号目となります。毎年1号には恒例の社会保障研究所シンポジウムの内容を収録しておりますが、本号も今年2月に開催されました第17回シンポジウムの記録を掲載いたしました。テーマ中の“活力ある福祉社会”については、昨今の社会保障をめぐる論議の中で、1つの重要な論点として検討されております。シンポジウムにおける様々な角度からの議論が、より一層深められて展開される方向に、本誌がいくらかなりとも貢献できるよう、編集スタッフ一同努力していきたいと考えております。

昨年度から本誌への投稿制度を設け、前号では投稿規定にもとづく最初の論文が掲載されました。本年度は投稿制度をさらに整備し、レフェリー制を導入することにいたします(101頁参照)。投稿論文は原則としてレフェリーによる判定をあおぎ、掲載の可否および修正点についてのコメントを求めることとします。編集委員の方々を中心に、投稿論文の内容・分野に応じて、レフェリーを依頼する方針でおります。本誌の学術雑誌としての性格をさらにゆるぎないものとするためにも、ぜひ皆様方の御協力を御願い申し上げる次第です。

(M・U)

(本号に掲載予定の「昭和58年度厚生省予算について」は、都合により掲載できなくなりました。どうか悪しからず御了承願います。)

編集委員長 福 武 直 (社会保障研究所長)

編集委員 青 井 和 夫 (津田塾大学教授)
飯 野 靖 四 (慶応義塾大学教授)
小 沼 正 (駒沢大学教授)
小 林 良 二 (東京都立大学助教授)
小 山 路 男 (上智大学教授)

地 主 重 美 (千葉大学教授)
平 石 長 久 (社会保障研究所調査部長)
保 坂 哲 哉 (金沢大学教授)
三 浦 文 夫 (日本社会事業大学教授)
安 川 正 彬 (慶応義塾大学教授)

編集幹事 宇 野 正 道 (社会保障研究所研究員)
城 戸 喜 子 (社会保障研究所主任研究員)

高 橋 紘 士 (社会保障研究所研究員)

(五十音順)

季刊

社会保障研究 Vol. 19, No. 1, Summer 1983

(通巻80号)

昭和58年6月25日 発行

編集・発行所

社 会 保 障 研 究 所

〒100 東京都千代田区霞が関3丁目3番4号
社会事業会館内 電話 (580) 2511

製 作

財団法人 東京大学出版会

〒113 東京都文京区本郷7丁目3番地の1
電話 (811) 8814